

2020年6月29日

各 位

住信SBIネット銀行株式会社

**おうち時間で現金利用頻度は約 70%減少
約半数が「キャッシュレス決済に慣れた」と回答
～外出自粛期間での意識・行動変化に関する調査結果～**

住信 SBI ネット銀行株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：円山法昭、以下「住信 SBI ネット銀行」という）は、2020年6月9日（火）～6月16日（火）に当社顧客を対象に実施した「外出自粛期間での意識・行動変化に関するアンケート」の調査結果をお知らせいたします。

1. 調査概要

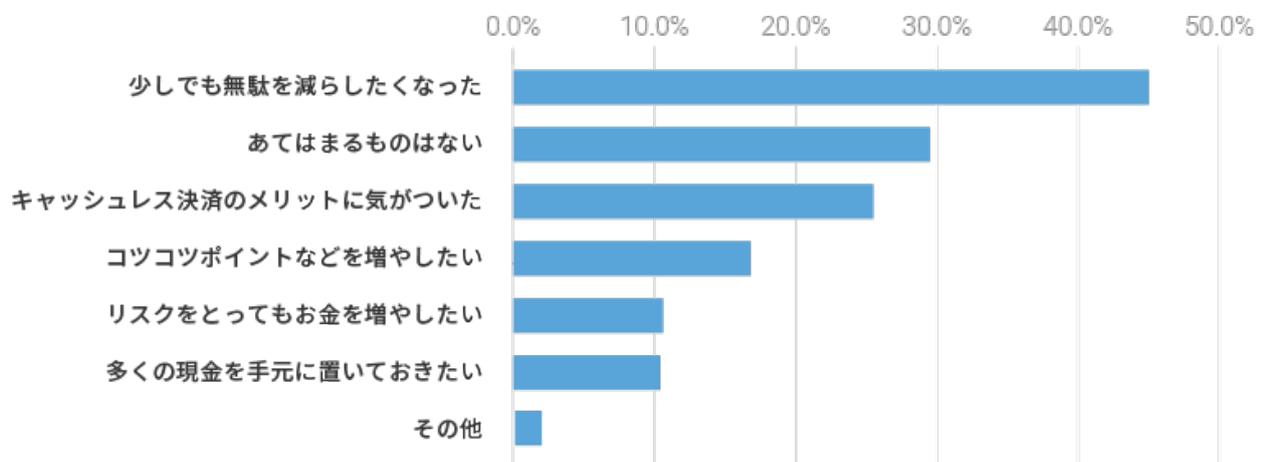
調査名 : 外出自粛期間での意識・行動変化に関するアンケート
 実施期間 : 2020年6月9日（火）～6月16日（火）
 実施チャネル : アンケート専用のWEBサイト（対象者にメールにてご案内）
 対象者 : 当社のお客さま（個人）のうち、各年代ごとに当社がランダムに抽出
 回答者数 : 3,949名

2. 調査結果サマリー

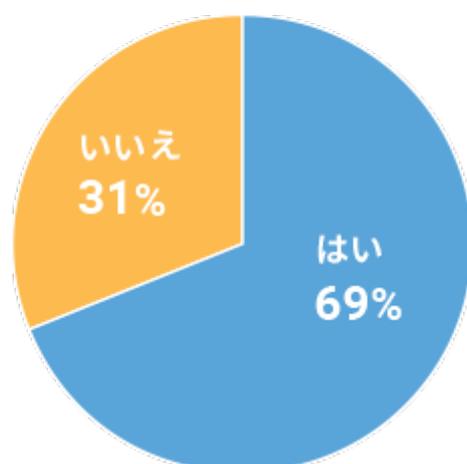
- ・ 現金の使用頻度が減った人は68.6%。理由は「キャッシュレス決済に慣れたから」（47.5%）
- ・ おうち時間でのお金についての考えの変化、1位は「少しでも無駄を減らしたい」（45.0%）次いで、「キャッシュレス決済のメリットに気付いた」（25.5%）
- ・ 今後もオンラインで行いたいもの1位は「銀行取引や株式投資等の資産運用」（51.5%）
- ・ 家計見直し対象は「携帯キャリア等の通信費」（25.8%）や「銀行ATM手数料・振込手数料」（24.6%）
- ・ 投資を開始・再開した理由は「相場を見て投資のチャンスだと考えたから」（46.4%）

3. 調査結果（一部抜粋）

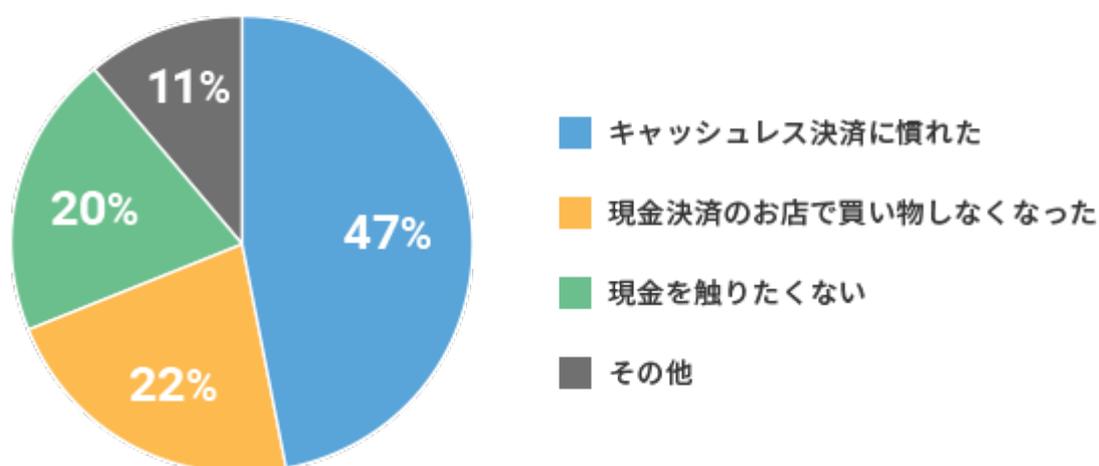
外出がしにくくなる期間をとお金について考えが変わったことは？



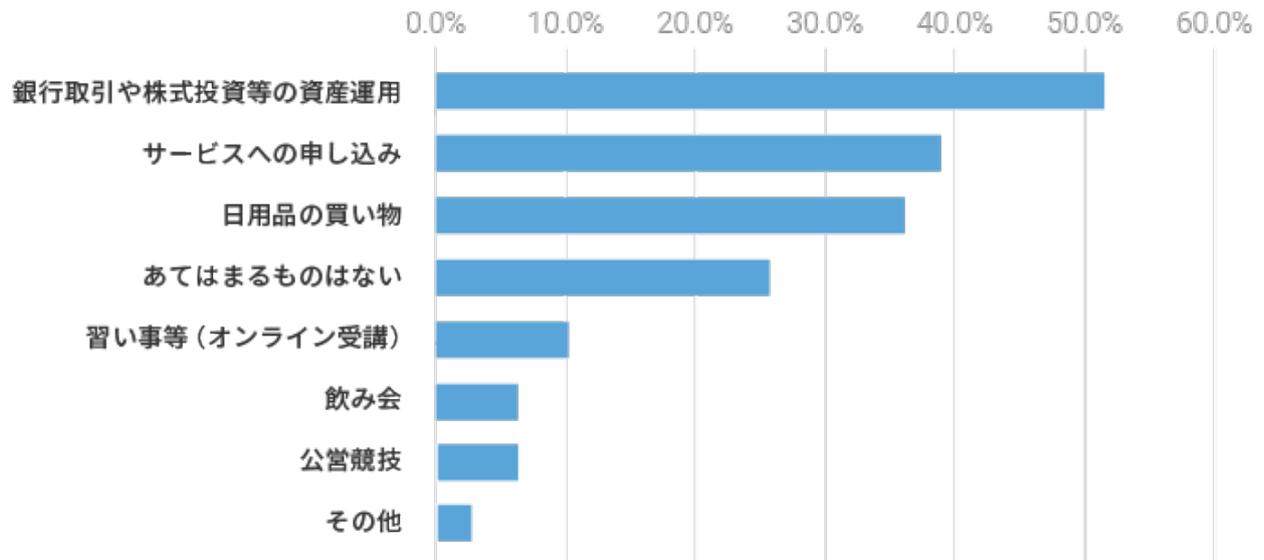
外出自粛期間中、現金の使用頻度が減りましたか？



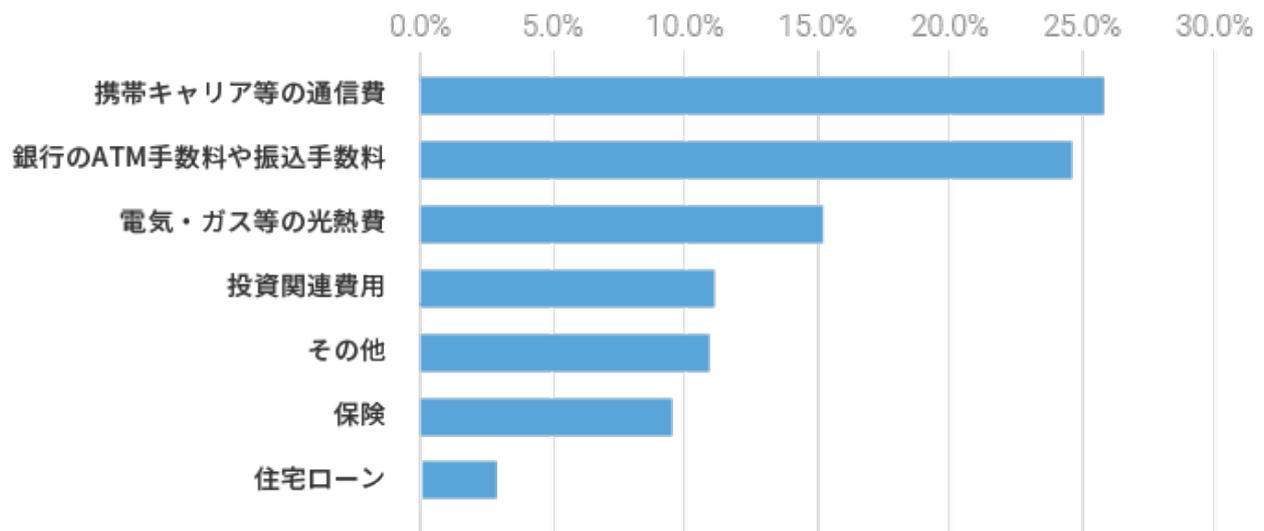
現金を使わなくなった理由はなんですか？



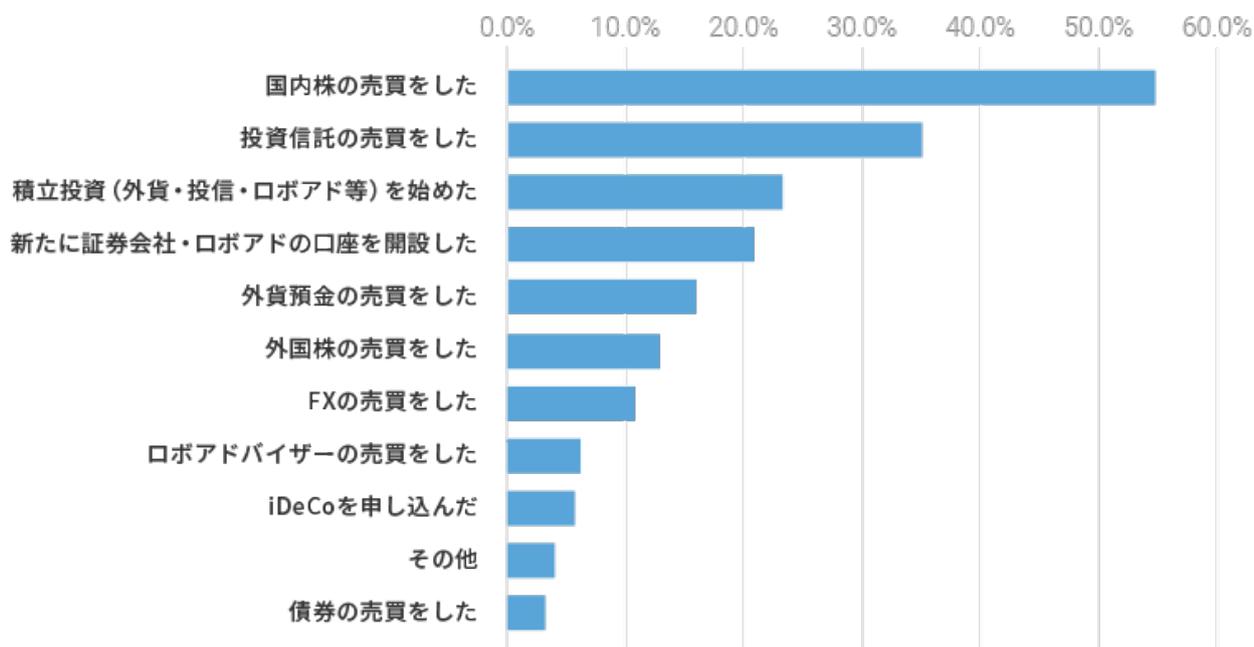
今後も引き続きオンラインで行いたいものは？



家計の見直しをしたかたは、具体的には何を見直しましたか？



この期間（3～5月）にどのような投資行動をしましたか？



外出自粛期間は、消費者のお金に関する心理・行動が大きく変化したことが判明しました。利便性を体感したことで、今後、キャッシュレス決済やオンラインでの銀行取引・資産運用のシェアは、さらに増加していくものと考察されます。

<調査結果詳細>

別紙をご参照ください。

住信 SBI ネット銀行は、お客さま中心主義のもと最先端のテクノロジーを活用することで金融サービスを変革し、社会をより快適で便利なものに変えていくことを目指してまいります。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：住信 SBI ネット銀行 企画部 広報担当 03-6229-1247